



報道機関各位

科学で発見!
ふるさと福井

平成28年11月25日

白川英樹博士特別実験教室の開催について

このたび、福井県児童科学館では、全国科学館連携協議会と連携し、白川英樹博士（2000年ノーベル化学賞受賞）特別実験教室を開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

なお、開催趣旨・事業概要等は **別紙1** のとおりです。

●日 時 平成28年12月4日（日）13:00～16:30

●日 程 12:40～ 報道関係者から白川博士へのインタビュー取材（約5分）

場所：コミュニケーション・ラボ

※個別の対応はせず、複数社まとめて実施します。

13:00 実験教室開始

場所：コミュニケーション・ラボ

※最初の5分程度報道関係者席から撮影のみ可能です。

その後は報道関係者は退出をお願いします。

※実験内容およびタイムスケジュールは **別紙2** のとおり

16:30 実験教室終了

※終了後は、参加した子どもたちへの取材が可能です。

●参加者 福井県内の小中学生 25名

※県内小中学校教員5名が実験指導補助者として参加します。

【本件に関するお問い合わせ】

福井県児童科学館（エンゼルランドふくい） 利用サービス課 石丸

TEL 0776-51-8000

報道関係者 各位

2016年10月12日 日本科学未来館

白川英樹博士特別実験教室 全国展開事業の実施について

2016年12月に福井、2017年3月に仙台にて開催

日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利衛)は、全国科学館連携協議会と共催で、白川英樹博士特別実験教室の全国展開を実施します。

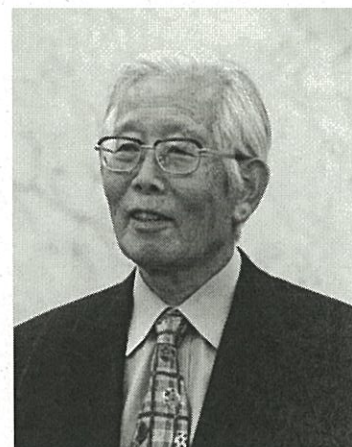
本事業は、白川英樹博士自らが実験を通して化学の不思議さ、面白さを伝える特別実験教室を、各地で実施していく取り組みです。このたび、全国科学館連携協議会の加盟館から公募し、福井県児童科学館とスリーエム仙台市科学館にて、それぞれ、2016年12月と2017年3月に実施することとなりました。

実験教室のテーマは、電気を通すプラスチック「導電性プラスチック」です。2003年より未来館で開催している実験教室「ノーベル賞化学者からのメッセージ 導電性プラスチックを作ろう」の『二次電池への応用』を全国展開用にパッケージ化したものです。実験の参加者は、導電性プラスチックの合成を行い、その性質を利用して電池を作ります。実験教室の全体講師は白川英樹博士が務めます。

未来館では本事業を通し、全国各地の子ども達に化学の面白さを体験できる機会を提供するとともに、実施科学館が継続的に本実験教室を運用する契機となることを目指しています。また、小中学校の教員に本実験教室の指導補助者として参加いただくことで、実施科学館と小中学校との連携をはかっていきます。

〔事業概要〕

事業名: 白川英樹博士特別実験教室 全国展開事業
 主催: 全国科学館連携協議会
 実施館(福井県児童科学館、スリーエム仙台市科学館)
 共催: 日本科学未来館
 協賛: 旭化成株式会社
 旭化成株式会社は、日本科学未来館のオフィシャルパートナー企業です
 本事業に関する問い合わせ:
 全国科学館連携協議会(日本科学未来館内) TEL:03-3570-9151



白川英樹博士
(撮影:菅野和彦)

〔実施場所、日時〕

実施場所: 福井県児童科学館(福井県坂井市春江町)
 実施日: 2016年12月4日(日)
 問い合わせ: 福井県児童科学館 TEL:0776-51-8000
 実施場所: スリーエム仙台市科学館(仙台市青葉区台原森林公園)
 実施日: 2017年3月4日(土)
 問い合わせ: スリーエム仙台市科学館 TEL:022-276-2201

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
全国科学館連携協議会 TEL:03-3570-9151 福井県児童科学館 TEL:0776-51-8000 スリーエム仙台市科学館 TEL:022-276-2201	日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 EMAIL:press@miraikan.jst.go.jp TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

白川英樹博士特別実験教室

導電性プラスチックで二次電池を作ろう！

開催日：平成28年12月4日（日）

場 所：福井県児童科学館 コミュニケーション・ラボ

タイムスケジュール

時間	内 容
12:40～	報道関係者から白川先生へのインタビュー取材（約5分）
13:00～	開始 白川先生より開催のごあいさつ （約5分間のみ報道関係者席から撮影可）
13:05～	導電性プラスチックの紹介 ～電池とは？～
13:25～	実験① プラスチック膜をつくる
13:45～	実験② 二次電池をつくる
14:15～	（休憩10分）
14:25～	実験③ 自由実験（自分で工夫して研究者体験）
15:00～	実験④ 電流・電圧を測る
16:15～	まとめ
16:30	終了（終了後は、報道関係者から参加者への取材可）